

Kaneko Susumu

金子 進



人生は
自分なりに生きるものが
ベスト!!

はじめに

皆さんも本を書いてみたいと思ったことはありませんか……。

私がこの本を書こうとした理由は、ごく単純な思いつきからでした。

ある会社を定年後、現在も延長にて勤めを継続しておりますが、心にゆとりが生まれ始め、一度出版活動を始めてみよう、いや、してみたいと思ったのです。

本。それは厳粛な世界にあり、読むことで癒されたり、自身のためにもなること

と思っただのです。

しかし、いざこの活動に取り掛かろうとした時にいったい何を書けば良いのだろうと悩みました。

そこである知人に相談したところ、

「よく考えてごらん。自分でも気付かなかったおもしろいことが、その辺にたくさんころがっているじゃないか……」

そう言われました。

私は日々を簡単に振り返ってみました。

確かに一日の始まりから終わりまでの間だけでも、今まで気付かなかった体験・経験があったのです。

これをベースに、体験・経験以外の分野も更に膨らませ書いてみたいと思うこと

が、おもしろいようにたくさん出てきたのです。

また、これは所謂『エッセイ』ですが、これから書かせて頂くことは、読者の方々に人間としての大切さを基本とし、人生を楽しく過ごせて頂けたならと……。

そのような気持ちでこの本を書かせて頂きました。

そして、この本が少しでも皆さんの人生にプラスになれば、私も幸せになれると思います。

はじめに

人生は自分なりに生きることがベスト!! ◆ 目次

はじめに.....	2
自分だけは.....	11
好きなことにチャレンジしよう.....	14
至福の一時.....	20
組織の大切さ.....	23
これも個室.....	27
タクシー会社.....	30
女性の活躍.....	36
固定観念に捕らわれず、好きなように生きよう.....	49

スカイツリーの頂上、	
360度のパノラマから何を見て、何を感じるか	51
聞くことの大切さと、その意味とは	55
好きなテレビ番組（私感）	61
テレビ視聴率はどのように測定されているか	67
ペットは家族①	70
ペットは家族②	78
オンリーワンとナンバーワン	86
おわりに	90

人生は自分なりに生きることがベスト!!



自分だけは……

それはある日のことだった……。2018年2月に私は大腿骨を折ってしまったのである。

しかも、ちょっとしたことで……。

転倒した後、それはもの凄い激痛が走り、立つことすらできず、玄関まで這うように身体を引きずり、何とか自宅の中へ入ることができた状態だった。

そして病院へ向かい、検査の結果すぐに手術となった。

初めての体験だった。

手術の恐怖に包まれていたが、麻酔を打たれるとすぐに眠たくなり、以降は全く覚えていない状態だった。医学進化もさることながら、それよりも私が掴めたチャンスは名医に見てもらえたことだったと思う。手術終了後も痛みはなかったが、そのまま入院となり、経過観察を行いながら、今度は長期戦となる入院生活とリハビリが始まった。

ここまでで大切だと感じたことは、大半の人が例えば自動車事故でも、『自分だけは……』と知っているのではないだろうか……。

それは大きな間違いであることに、皆さんは気付いているだろうか。

万が一、あらゆる災難に遭遇した時には、先ず自分を落ち着かせ、聡明さを保ち、

自分だけは……

そして覚悟を決めることが重要だと思う。

毎日をどれだけ真剣に生きているか。

『自分だけは……』、はありえないことなのです。

好きなことにチャレンジしよう

退院後の私は、継続してリハビリに精を出した。

PT（理学療法士）は28歳の女性であり、非常に真剣な対応で向き合ってくれた。通う回数が増える毎に、世間話で笑える間柄にまでなった時、私は『何故この仕事を選んだの？』と彼女に問いかけてみた。

彼女の回答は一言で言うと、「人が好きだから……」であった。

これはまた何と素晴らしく、しかも優しいPTに出会えたものだ、私は感銘を受けた。

そしてその後、彼女は副主任へと昇格したのである。

彼女には時折、同じPTを目指す研修生が、よく彼女のもとに就くことがあり、私もリハビリの間、何人もの研修生と向き合ったことがある。

その場合は先ず副主任から、

「今日はこの研修生にもリハビリの一部をさせて頂いても宜しいですか……」と聞かれる。

やはり人望の厚い彼女には、研修生の訓練も任せられ、それが故に大勢の研修生もついて来るのだろう。